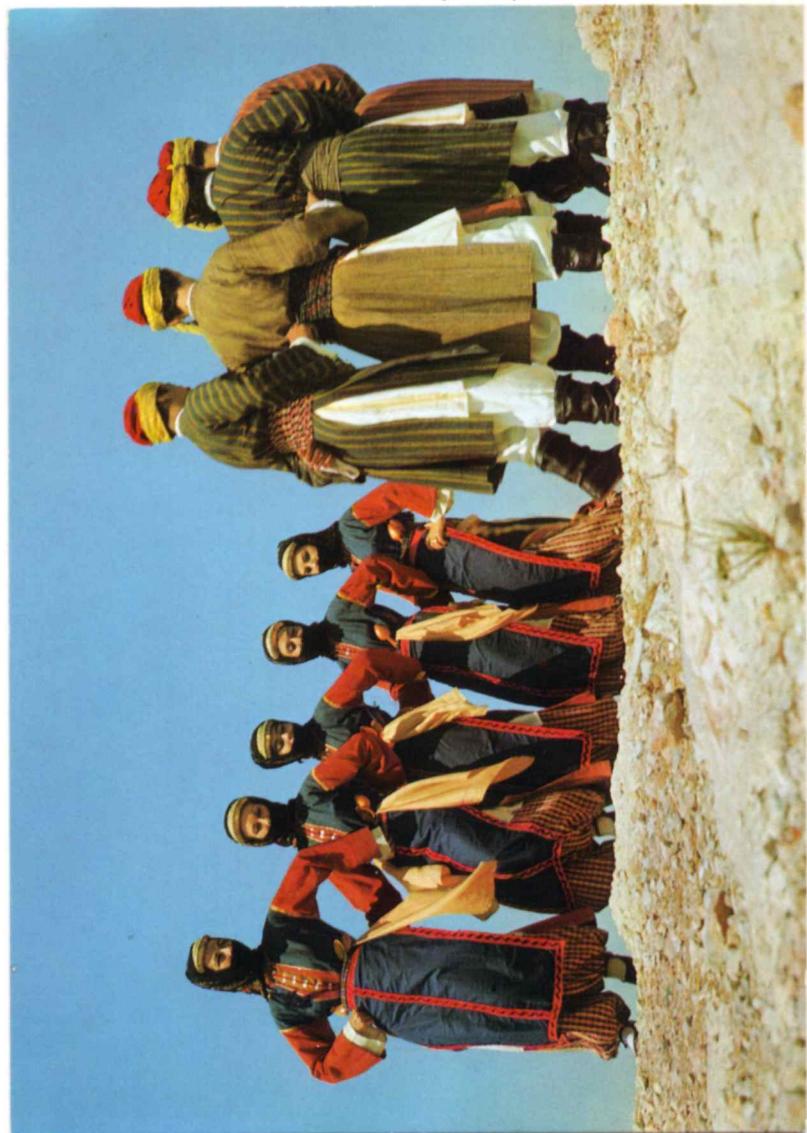


Durchan33

Joe Graziosi in JAPAN '96



Dances from CAPPADOCIA

発行者: Denc (田中 希望) 発行日: 97/01/15 第1版

連絡先: 520-02 大津市仰木の里4-3-2-201

Tel. & Fax. 0775-74-2928 E-mail: denc@jsn.justnet.or.jp **500円**

Joe Graziosi '96

深い踊り満載のジョーの講習会でした。踊りの記述に当たっては一部お馴染みの笹倉万里子さんにご協力いただきました。またギリシャ語綴りに関しては、志田好隆氏の取材・研究によるものです。この場を借りて感謝いたします。

●マキノ 96/11/9-10

17 page --- 1:Sta Tria	Στα Τρια
10 page --- 2:Arvanitiko	Αρβανιτικό
1 page --- 3:Ta Matentzidika	Ματεντζίδικα
(1) Eba-evga	Εβα-εβγά
(2) Ters	Τερσ
(3) Tsourtougouzou	Τσουρτούγουζου
11 page --- 4:Triandafilia	Τριανταφύλλια
3 page --- 5:Etere (曲は、Tis Ofis)	Ετερε (Τησ Οφισ)
12 page --- 6:Atzibiliika	Ατζιμπίλικα
14 page --- 7:Daulara Chalar	Δαουλαρα Τσαλαρ
20 page --- 8:Aptal Havasi (又は Aptaliko)	Απταλικό
7 page --- 9:Lotzia	Λοτζία
6 page --- 10:Mulayeve	Μουλαιεβό
2 page --- 11:Tri(a) Kotsari (曲は Tass)	Τρι(α) Κοτσαρι (Τασσ)
5 page --- 12:Tikfesokino (又は Krivoto)	Τικφεσκίνο (Κριβοτο)
16 page --- 13:Troirou	Τροιρου
24 page --- 14:Lohias	Λοχιασ
13 page --- 15:Patrona	Πατρωνα
18 page --- 16:Kuluriotiko Hasapiko	Κουλουριωτικό Χασαπικό
15 page --- 17:Karada	Καραδά
22 page --- 18:Guvarladum	Γουβαρλαντουμ
23 page --- 19:Sari Kiz	Σαρι Κιζ
8 page --- 20:Kavondoritiko	Καβονντοριτικό

●岩井 96/11/22-24

24 page --- 1:Lohias	Λοχιασ
3 page --- 2:Etere (曲は、Tis Ofis)	Ετερε (Τησ Οφισ)
4 page --- 3:Tryghona	Τρυγωνα
17 page --- 4:Sta Tria	Στα Τρια
25 page --- 5:Vlacha	Βλαχα
20 page --- 6:Aptal Havasi (又は Aptaliko)	Απταλικό
14 page --- 7:Daulara Chalar	Δαουλαρα Τσαλαρ
9 page --- 8:Yiatros	Γιατροσ
10 page --- 9:Arvanitiko	Αρβανιτικό
6 page --- 10:Mulayeve	Μουλαιεβό
18 page --- 11:Kuluriotiko Hasapiko	Κουλουριωτικό Χασαπικό
7 page --- 12:Lotzia	Λοτζία
8 page --- 13:Kavondoritiko	Καβονντοριτικό
15 page --- 14:Karada	Καραδά
21 page --- 15:T'Ez-Vasili	Τ'Εζ-Βασλη
1 page --- 16:Ta Matentzidika	Ματεντζίδικα
(1) Eba-evga	Εβα-εβγά
(2) Ters	Τερσ
(3) Tsourtougouzou	Τσουρτούγουζου
5 page --- 17:Tikfesokino (又は Krivoto)	Τικφεσκίνο (Κριβοτο)
2 page --- 18:Tri(a) Kotsari (曲は Tass)	Τρι(α) Κοτσαρι (Τασσ)

注) 語尾の「σ」は「ς」と読みかえてください。それが正しいはずです。

= Matentzidika = マテンツィディカ

Pontos

96.11.9-10 JoeGraziosi (2), 96.11.22-24 同巻# ,

Music: Romiosini 96 Vol.1

クロ-ズドサ-ル

« Ebaevga » リリ.

« Ters » J-PP Tik のリズム

« Tsourou - gouzou » リ

〈メモ〉・採鉱夫の ... ?

= Tria Kotsari = トリアコツカリ

Caucasus Pontians

コーカサスのポンティアック

96.11.9-10. Joe Graziosi マキ, 96.11.22-24 同岩井,

Music : Romiosini 96 Vol.1 (Tass)

IIII クロスドサ-クル または オ-フンサ-クル

cho. $\overleftarrow{\overrightarrow{R, L}}$, ---
①

はじめは ひつうに歩くが、はやくな、くると $\overleftarrow{\overrightarrow{R, B, L}}$, のようになる。
ダブルバウンス

dance $\begin{matrix} \overset{\uparrow}{H}, \overset{(\uparrow)}{R}, \overset{(\downarrow)}{L}, \overset{(\uparrow)}{R}, \overset{(\downarrow)}{H}, \overset{(\uparrow)}{L}, H \overset{\downarrow}{R}, L, H \overset{\downarrow}{R}, L, \end{matrix}$, (x?)

① $\begin{matrix} \overset{\uparrow}{r}, \\ \overset{(\uparrow)}{R} \\ \overset{(\downarrow)}{R} \\ \text{kick} \end{matrix}$

〈メモ〉・構成 cho. と dance を適当な長さで交互にくり返す。

・Tri Kotsari, Tria Kotsari, Triplo Kotsari などと称す。

筆記

HIC
Pontosの踊りといふ紹介されてゐる踊りの多くは、Trabzonあたりのものより、もっと東の方の
方が多いということです。私としては知らないことだつたので意外でした。どうも。
Pontosは、今のトルコのBafraなどの西Pontosからコーカサス地方までという広い地域
に住んでいた人たちのようですね。この辺りトルコの踊りといつても、色々と個性の強い
踊りの地方が並んでいます。TrabzonやRizeそしてArtvin等。また、アルメニアの
カラミでも、現トルコに住んでいた人々のことか。Tom Bozogian氏からも言及されて
います。LazBarは、Lazと呼ばれる黒海地方に住んでいた人がコーカサス方面に
移動して云々。ロシアの踊りとよくまちがえられる Lezghinka の Lez は Laz と
同じとか.... Khorumi(グルジア)は、もともと Trabzon 方面から来た人の踊りとか。
Orta Batum(アルタウイ)は Khorumi と同じとか.... 実に色々と動きがあるのに
ですが、今我々は、HICの踊り、ギリシアの踊り、アルメニアの踊り、グルジアの踊りなど
として習って、そして関連付けながらこの地域の全体像を再構築していくのです。
遠まわりしているようですが、「民族」が違うので仕方ないのでしょうか。
まあ、こんな想像が樂しい面もありますが...

ところで、モシの Machol Gourzini は、この中でどういう位置付けにならうか
どうか? ---- いやいや 本気で疑問に思つてゐる訳ではありません。

Denic

96.12.14. Denic

= Etere = イテレ

Pontos

96.11.9-10 Joe Graziosi 2nd , 96.11.22-24 同巻[#] ,

Music: Romiosini 96 Vol.1 (曲名 Tis Ofis)
曲名

ヒジからぬ手[#]
挿(11)の) 2D-2D-ナ-ケル

↑ ↓ ← →
R , L , R , L , R , L , R , L , R , L , R , L ,
押さげに 11-7^o
Step (↑ ↑ ↑
tch , L ,)

<メモ>

II

Denc

— Tryghona = トリゴナ

Pontos

96.11.22-24 Joe Graziosi 岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

せまい ① or うでがさり ♀ z" Closed H-711V

2/4

RL, RL, RL, RL,
BB, BB, 押, 押

♀ そのまき ① 前 後 前 後
♀ 前 後 前 後 一 強く 引く
ヒジ掛けまき or 引く
上へ上げる

<メモ> 途中2リズムかとりに<<なるの>>注意

Denic

= Tikfesokino = ティクフェスキノ

別名 Krivoto ツリト

Orma
Karatzova - Makedonia

96.11.9-10. JoeGraziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.1

$\overleftarrow{R} \downarrow l, \overrightarrow{L} r, \overleftarrow{R} \downarrow L, \overrightarrow{R} \downarrow L, \overleftarrow{r} r,$
↓
(th th) tanz' to

↓ tanz' tanz' to カウ、ズウ

$\overleftarrow{R} H, \overrightarrow{L} H, \overleftarrow{R} L, \overrightarrow{R} L, \overrightarrow{H} H,$
↓ tanz'

- 〈メモ〉
- ・ 春のあと「リタニ」か。近くの別の村では「リヤ」で踊ることもある
 - ・ Karatzova は手元の地図で見つからなかつたが。Aridea の「リバタニ」も
 - ・ Pece の紹介の Krivo Žensko と 同い踊りである。

Denic

= Mulayevo = ムライエボ

Edessa-Makedonia
-Elias

96.11.9-10: Joe Graziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.1

↑↑↑↑

Slow R L , R ↑ ↓ , L r , tch

⑩

(↑ ↓
(L R ,

(↑ ↓
(L R L ,

(↑ ↓
(L R L H ,

fast R H H L R L R L , R L H ,
シニコペーション

⑪

蛇行していく

自由に組み合せて
よいか傾向として
たむだんと
変わらしく

ホールトも速くなる
手など何となく⑩に
似せよい。⑪のままでよい。

< Memo > Stankina, Slejmanova, Marina, Bukiće など似た踊りがあるが、
これらは Mulayevo (Mulajovo) も含め、曲(メロディ)の名前。

各村の踊りが、これらのメロディで踊られるので、

A村の Mulayevo と B村の Mulayevo は 同じ曲、違う踊り方

A村の Mulayevo と A村の Stankina は 違う曲、同じ踊り方
のようになる。だから曲名だけで、どんな踊り方がはめから
なるべく、混乱しないよう…。

~~Danic~~

= Lotzia = ロジア

南西 Makedonia

96.11.9-10 JoeGraziosi マキ), 96.11.22-24 同巻#,

Music: Romiosini 96 Vol.1

J.J.J.JJ というように始まる。 あとの方で J.J.J.J という Beranče のようになる ??

Slow ~ Studio J.J.J.JJ
⑩ $\overrightarrow{R, L, R, L, R, L, , \dots}$
(LR, L)

fast $\frac{3}{4}$

$\overrightarrow{R L, R, L R, L, , \dots}$
やる
おちるような Step
手はアリ-アリ
右へ左へふる 甲 甲 甲 ...
バラバラに
すすむ
回ったリ ...

〈メモ〉・個人的にはリズムが とれずなかなかタイミングよく入れない。
メロディをきくとどうしても Beranče 的に見えてしまう ...
どうしましよう?

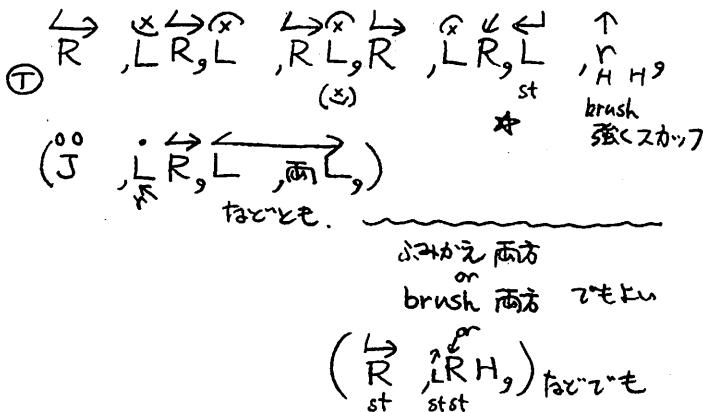
Denic

96.11.9-10 JoeGraziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

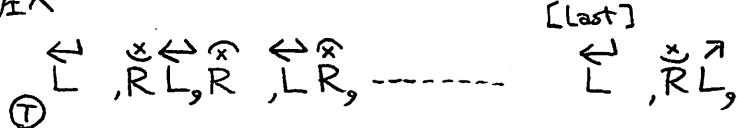
Music: Romiosini 96 Vol. 2

3/4

◎右へ 上下動かす Nisiotiko風 Syros で進みに...



◎左へ



〈メモ〉 構成 低い音のところ 左行, その他右行。
踊り始めは 左行ききから...

左→右は、高い音にならすく [Last] を入れて右へ
右→左は、低い音になら 次の \star までやって左へ

• 10人ぐらいまでの少人数で踊るとよい。

左端の人は ② 左行ききまきこむ

リーダーと次の人は 円内ごと ②で同じStepをとります。
3~4人めも 同様にとります。
5~6人めも 同様にとります。

• リーダーは、足叩きなど、タニなど... いふいふ。



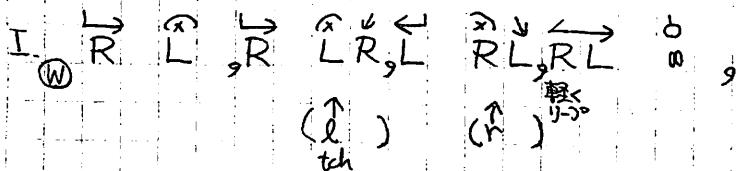
= Yiatros = 伊トロス

Ipiros - Ellas

96.11.22-24 JoeGraziosi 岩井

Music: Romlosini 96 Vol.1

(StaTria Yiatros)



(StaTria) 演奏がかったら

II ④ I(1~3拍)

<Memo> Yiatros (Giatros というつづりで紹介されたこともある~同じもの) は有名な曲で、StaTria, StaDio, StaDio Kostos などの踊り方で踊らねること多い。

◎ 一口ギリシア語入門 ④

「Γ」(ガ-マ) は、アルファベットの「G」にあたる文字ですが、この字には ζ や ε がつづくと「ギ」「ゲ」ではなく「イ」「エ」という発音になります。

この音を重視して ギリシア語→ローマ字 挿字してやると
Yiatros, Yerakina などとなり。

もとのつづりをそのまま 挿字してやると
Giatros, Gerakina などとなります。

もちろんこれらのつづり方でも、伊トロス、イエラキナと発音するべきであり
ギアトロス、ケラキナ はよほりません。

Den's

= Arvanitiko = Αρβανίτικο

lpiros

96.11.9-10 Joe Graziosi ラキ), 96.11.22-24 同巻#,

Music: Romiosini 96 Vol.1.

«Arvanitiko» 2/4

W $\begin{matrix} \overset{x}{\leftarrow} \leftarrow \\ \text{L} R, L \end{matrix}, \begin{matrix} \overset{x}{\leftarrow} \\ R \end{matrix}, \begin{matrix} \overset{x}{\leftarrow} \\ l \end{matrix}, \begin{matrix} \overset{x}{\leftarrow} \leftarrow \\ L R, L \end{matrix}, \begin{matrix} \overset{x}{\leftarrow} \\ r \end{matrix}, \begin{matrix} \overset{x}{\leftarrow} \\ r \end{matrix},$,
 少し進化
 短いStep

« Tsamikos » 3/4

《メモ》・曲名は「アリバニアの」ということ
・リタニア 2~3人まで は、色々なことをする。 例えは『Arvanitiko』で以下のように
89. 6 (あはで 1倍)

→ LR, L, R, \hat{L} , LR, L, \hat{R} , r, r, (L, R)) 同様 足を (むを) くむよう (くむよう) に
スネで ルをまといで スネで
クロスステップ。 or 単1ビザ付き

- ・腰は伸びよう! いかげるのか
よいか...?
- ・2~3バターンやつてまた。
ふつうの踊りにもどる
- ・Tsamikos びや、でももぢる。
- ・スネでステップを「スネップ」と
誰かが言つてました。

\overleftarrow{R} \overleftarrow{L} \overleftarrow{R} \overleftarrow{L} \overleftarrow{R}
 , , , , ,
 ↑↑↑↑↑↑
 (すくりにさよに
 アセント)

Denic

= Triandasfillia = トライアンドサフィリア

'96.11.9-10 JoeGraziosi P#),

Polyiros Halkidiki
-Makedonia-Ellas

Music: Romiosini 96 Vol.1.

I. $\overleftarrow{R}, \overleftarrow{L}, \overrightarrow{R}, \overleftarrow{l}, \overrightarrow{L}, \overrightarrow{r},$ (x4)
右足
左足 前側 → もどす

II. $\overleftarrow{R}, \overleftarrow{L}, \overrightarrow{R}, \overleftarrow{L}, \overrightarrow{R}, \overleftarrow{l}, \overrightarrow{L}, \overrightarrow{r},$ (x2)

途中2×4 = もなす。

〈メモ〉 エロティックも含めても I → II → I → II → ...
回数も含めましょう。

Denic

= Atzibiliaka = アツビリカ

Sernes-Makedonia

96.11.9-10 Joe Graziosi マキ)

Music: Romiosini 96 Vol.2

♪♪♪
LRLR, LRLR, LRHL, RLHR,
⑦ 11-7° 11-7° 11-7° ⑧ 11-7° ⑨ 11-7° ⑩ 11-7° ⑪ 11-7° ⑫ 11-7°

<モ>

Dené

=Patrona = 19107

Melemikitsi - Serres - Makedonia

96.11.9-10 JoeGraziosi ピアノ

Music: Romiosini '96 Vol.2

1.11

$\xleftarrow{\quad}$ $\overset{\circ}{\text{R}}$ L, R $\overset{\circ}{\text{L}}, \text{R}$ $\overset{\circ}{\text{L}}, \text{H}$ $\overset{\circ}{\text{R}}$, $\xrightarrow{\quad}$ Rev $\underset{9999}{\text{9999}}$

⑤ テンポ移動

$\xleftarrow{\quad}$ $\overset{\circ}{\text{R}}$ L, H $\overset{\circ}{\text{R}}$, H $\overset{\circ}{\text{L}}, \text{H}$ $\overset{\circ}{\text{R}}, \text{L}$ $\overset{\circ}{\text{R}}, \text{H}$ $\overset{\circ}{\text{L}}$,

<メモ>

~~Denic~~

= Daulara Chalar = タウラ チラル

Kimisi - Serres - Makedonia

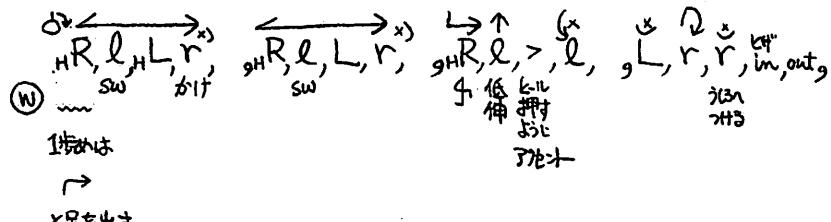
96.11.9-10 Joe Graziosi マキ), 96.11.22-24 同 岩井,

Music: Romiosini 96 Vol. 2

◎Slow

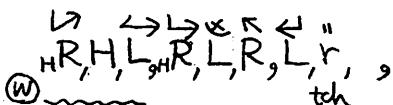
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ← 少し違うが、このようにヒカルか理解しやすいと思う。 (slow quick slow)

Intro 1小節 ですぐ入る



◎ fast 曲が速くなったら slow を少し流して いきなり fast part にたる。

↓ ↓ (slow quick quick)



少し中へ入るようにして
円周にもどる

〈メモ〉 slow のはじめ2小節は R L r, (x2) とすることもできる。

Denic

96.11.9-10 JoeGraziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

◎ slow 1.11.

$\begin{matrix} \uparrow \downarrow \\ R, l, l, \end{matrix}$ $\begin{matrix} \leftarrow \\ L, B, B, \end{math>}, R, L, \begin{matrix} \leftarrow \\ R, l, l, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ L, B, B, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ R, H, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ L, R, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ L, r, \end{math>},$
 (W) kick2回 $\begin{matrix} \uparrow \\ \text{1.1c} \end{matrix}$ kick2回 $\begin{matrix} \uparrow \\ \text{1.1c} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \uparrow \\ \text{1.1c} \end{matrix}$

$(R \begin{matrix} \leftarrow \\ \text{th} \end{matrix})$ (同左)
 $(RLR) \begin{matrix} \leftarrow \\ \text{特に左はこうする} \end{matrix}$ (")

◎ fast 1.11

Slow を速くしていく、1歩めを $\begin{matrix} \text{N} \\ R \end{matrix}$ にする ----

◎ fast 1.11 合図でかわる

$\begin{matrix} \text{N} \\ R, H, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ , RL, \end{math>}, \begin{matrix} \rightarrow \\ , RL, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ , RL, R, \end{math>}, \begin{matrix} \rightarrow \\ , RL, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ , R, H, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ L, R, \end{math>}, \begin{matrix} \leftarrow \\ L, H, \end{math>},$
 (W) (V) 前後 (W)

〈メモ〉

- 合図で fast にかわるか、基本的に Step は同じである。
- fast パートはこれまでの Joe の踊りでは Samarina, Galda Svatova と共通です。どちら Serres のあたりの踊り。私はこの動き 好きです。
- ちなみにこの踊りの後半は「蛇行しない」とマキでは言っていたと思いますが、「蛇行する」と岩井では踊りました。さて? 私は 蛇行することにします。
(好きだから)

Denic

= Troiru = Τροιν

Boyaliki - North Thrace

96.11.9-10 JoeGraziosi ラヂオ

Music: Romiosini 96 Vol.2

2/4

$\overleftarrow{H\downarrow L}$ $\overleftarrow{H\downarrow R}$ $\overleftarrow{gH\downarrow L}$ $\overleftarrow{R\downarrow L}$, $\overleftarrow{R\downarrow R}$ $\overleftarrow{L\downarrow L}$, $\overleftarrow{R\downarrow L}$, $\overleftarrow{R\downarrow \tilde{R}}$, $\overleftarrow{gR\downarrow \tilde{R}}$, $\overleftarrow{gR\downarrow \tilde{R}}$,
($\overleftarrow{L\downarrow r}$) $\overleftarrow{(R\downarrow l)}$
tch tch

④ 後 前 後 前

アラカニヤマ

<メモ> · TritiPatiの系統の踊り

~~Denic~~

= StaTria =

27 HIT

Sarakatsan -

東Makedonia~Thrace

96.11.9-10 JoeGraziosi 2#1, 96.11.22-24 同者#1,

Music: Romiosini '96 Vol.2 "Epses Iha Kali Kardia"

④ $\overleftarrow{R}, \overleftarrow{L}, \overleftarrow{R}, \overleftarrow{l}, \overleftarrow{L}, \overleftarrow{R}, \overleftarrow{L}, \overleftarrow{r}$

(LRL)

ヒザ曲げて高く上げる

“体はひく”

tch tch リガト

tch tch Hop

tch tch

\overleftarrow{R} パタタ

など

\overleftarrow{l} と同様

などなど...

＜メモ> Sarakatsan は、東マケドニア～トラキアあたりに住む、羊飼いたち（遊牧民）のことだ“そうだ”。

- "Despo" たる Sarakatsan の $\overleftarrow{R}, \overleftarrow{L}, \overleftarrow{R}, \overleftarrow{l}, \overleftarrow{L}, \overleftarrow{r}$ のパターンの Step のこと。

Danic

= Kuluriotiko Hasapiko = クリオティコ ハサピコ (速)

Salamina島

96.11.9-10 Joe Graziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

2人～5人くらいまでのごく短いライン ①

I. \overleftarrow{R} , \overleftarrow{L} , \overleftarrow{R} , $\overset{\uparrow}{l}$
① $\underset{\text{左伸}}{\text{sw}}$, $\overset{\cdot}{L}$, $\overset{\uparrow}{r}$
 $\underset{\text{右伸}}{\text{sw}}$, $(x?) + \overleftarrow{R}$, \overleftarrow{L} , \overleftarrow{R} , \overleftarrow{l} ,

II. $\vdash, \rightarrow, \downarrow, R, \times, \nwarrow, l, \times, \text{伸}, (\times?)$
tch
少々抑
ニシヤウム

III. $\overset{\uparrow}{L} \overset{\times}{R} \overset{\times}{L}$, $\overset{\downarrow}{R} \overset{\downarrow}{L}$, $\overset{\uparrow}{R} \overset{\times}{L}$, $\overset{\downarrow}{R} \overset{\times}{L}$, $\overset{\cdot}{R} \overset{\times}{L}, \overset{\times}{R} \overset{\times}{L}$, $(\times?)$

VI. 「Vをつまむ」に 2回くらい?

VII. $\overset{\uparrow}{L}, \overset{\uparrow}{r}, \overset{\downarrow}{R}, \overset{\leftarrow}{L}, \overset{\leftarrow}{R}, \overset{\leftarrow}{L}, \overset{\leftarrow}{R}, \overset{\leftarrow}{l},$
 kick 
 $\overset{\uparrow}{L}, \overset{\uparrow}{r}, \overset{\leftarrow}{R}, \overset{\uparrow}{L}, \overset{\uparrow}{r}, \overset{\uparrow}{L}, \overset{\uparrow}{r}, \overset{\uparrow}{L},$
 kick 
 $\overset{\uparrow}{L}, \overset{\uparrow}{r}, \overset{\leftarrow}{R}, \overset{\uparrow}{l}, \overset{\uparrow}{L}, \overset{\uparrow}{r}, \overset{\uparrow}{L}, \overset{\uparrow}{r},$
 kick  (x?)
 2回目

VIII. $\overset{\cdot}{L}, \overset{\cdot}{r}, \overset{\cdot}{R}, \overset{\cdot}{l}, \overset{\cdot}{R}, \overset{\cdot}{L}, \overset{\cdot}{R}, \overset{\cdot}{l}$, (x?)
 st kick st st st st st kick
 S. B P P

以下 \forall からくり返す。

 Denic

= Aptal Havasi (Aptaliko) = アプタルハバシ(コ)

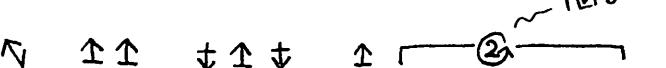
Mytilini (Asia Minor
Aydin

96.11.9-10 Joe Graziosi ラキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

۱۱۱۱۱۱۱۱۱

Basic. $L, r, R, L, R, L, R, l,$
 手はフリー- \overrightarrow{r} \overleftarrow{L} \overrightarrow{R} \overleftarrow{L} \overrightarrow{R} \overleftarrow{L} \overrightarrow{R} \overleftarrow{l} ,
 引き \overrightarrow{L} \overleftarrow{R} \overrightarrow{L} \overleftarrow{R} \overrightarrow{L} \overleftarrow{R} \overrightarrow{l} ,
 (LRL)

Forward 

＜メモ＞・構成 Basicをつづけ間に各Fig.をはさむ(1回につき1回)順序など自由だが、
しばらくはさらに踊るのでではなく、合わせた動きに(自然に)なる。

- ・踊りは Zeybekiko の一種

音楽は ふつうの Zeybekiko(7/4) ツツツツツツツツ リリリリリリリ に対して
この音楽は ツツツツツツツツ リリリリリリ

このシリーズを Aptaliko という。Aptaliko の曲なら何でもこの角りが踊れる。

ここで使用曲は、Aptal Havasi という曲（メロディ）である。

- Aptal は Abdala と同じだそう

Denic

96.11.22-24 Joe Graziosi 岩井,

Music: Romiosini 96 Vol.2

歩歩 左手前へ、左手自分の背 slowのうちは、特に前の人と間隔狭く → あとでビジ伸ばす Slow な、で、ベルトをもつこともある。

intro 2カウント間近で スムーズに

° $\overrightarrow{R}, \overrightarrow{L}, \overrightarrow{R}$ $\overrightarrow{l}, \overrightarrow{l}$, $\overleftarrow{L}, \overrightarrow{r}$,
 伸曲
 高め up
 ベルトへ 内外へ傾く
 上体傾ける
 リズム開始

(x6) < Slow まる

I. introと同じ 少しリズミカルに (x5)

II. $\overrightarrow{R}, \overrightarrow{L}, \overrightarrow{R}$ $\overset{\circ}{H}$, $\overset{\circ}{J}$, $\overset{\circ}{H}$,
 バラニス 気味 曲1歩
 (x6)

III. $\overrightarrow{R}, \overrightarrow{L}, \overrightarrow{R}, \overrightarrow{L}, \dots$ 16歩
 リ-ゴ st リ-ゴ st
 おもようい

IV. $\overrightarrow{R}, \overrightarrow{L}, \overrightarrow{R}, \overrightarrow{L}, \dots$ 16歩
 ハツハニ歩く

以後 III IV III IV --- とくり返す

- <メモ>
- Slowのところはなかなかうまくできませんね。リズムはありません。
 - リーターは棒をもって踊れない人を指導する。
 - 聖バジルのことをうたった歌のみ無伴奏で踊る踊りが原型。
 - カッパドキアの地底都市(?)の遺跡はギリシア人たちが残したもの
- キリスト教

Denic

= Guvardadum = ギュバーラドゥム

Bafra-西Pontos
現トルコ

96.11.9-10 Joe Graziosi マキノ

Music: Romiosini 96 Vol. 2

うでかわめ (指はかわめない) ⇔ ひつなか・トニライン

 で ^W ホルト ⇔ 後ろのラインの人が
合図で 連手をかぶせて フロントバストートのようになる。
(ビジはややまけた低いW)

~踊り~

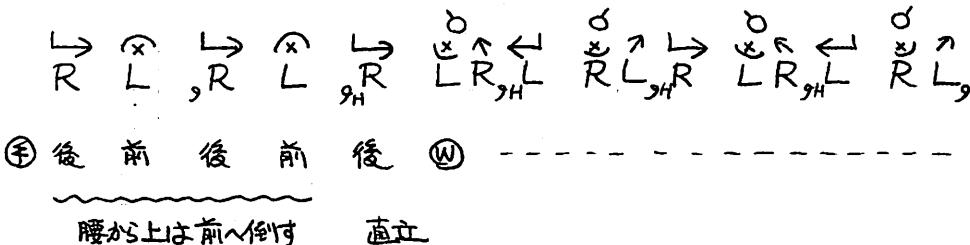
$\overleftarrow{L} R, \overrightarrow{L}, R, B, \dots \Leftrightarrow \overleftarrow{L} R, \overrightarrow{L}, R, B, \dots$

- 〈メモ〉
- うでをかぶせる隊型のときは ♂♀はどちらないか、背の大きい人が
うしろの方がよいかな...
 - ラインは 蛇行する。



96.11.9-10 JoeGraziosi マキ), ~ 講習 U=のかた?

Music: Romiosini 96 Vol.2



〈メモ〉・以前 Bafra Horonu - Omal Karsilikidikon でLC 講習された踊りの前半。
前の曲は、西Pontosと東Pontosの踊りをくみ合せた形で紹介されたが、これは、
Joeが フォーカダンス用として組み合せたのか、ギリニアの Pontos 社会で、融合された
のかは確認していない。そもそも 今 現地に住んでいない彼らが、どうだけ
地理的な距離を気にしなければならないか想像しない。それよりも Pontos の
出身者が多いコミュニティで Pontos 各地の踊りが ごちゃまぜになり、似たり寄りのものを
組み合せて踊るというのか普通であると説明されても 全然不思議ではない
と感じます。でも、民俗学的な視点を 重要な思ふ人は、Bafra-Omal は奇妙
なものだったかもしれませんね。音楽的にも 現代っぽいし。そこ (かどうか知らんが)
Joeが、Bafra の樂器奏者に頼んで、「本場の」 Bafra Horonu を録音してもらつた
そうだ。

この演奏はいいなあと思いますが、そして *Baixa-Ormal* の テ-フ^o の途中の「ボヨーン」というテ-フ^o の伸びのようなどこ^o は気に入りませんか。さてどちらか、Pontos の音楽^o なの でしょうか? 「村」、「本物」の「現地」を重視する人は、今回の曲の方が というでしょうが、今の Pontos 社会は、ギリシアのマケドニアに散在しています。そして強い個性をもって生き続けています。学問的に「もと」を知ることは良いことですが、今、生き続けている「踊り」も負けず^o によいものであります。ギリシアで Pontos の踊りは決して過去のものでも、学問上のものでもなく、かたりのエネルギーをもって生きています。
(少ない経験から推測)を多く含みます。)

- 曲名は Sarikiz で、明らかにトルコ語です。でも ギリシアの人が こう呼ぶべき、トルコ語と感じているのが、ギリシア語と感じているのが、外来語として感じているのか？色々考えてもあまり意味がないですし、適当に考えたらよいのですから、「ギリシアの踊り」をトルコ文字で KIZ (iの点なし) と表現するのも少し変な気がします。また、Kiz と書いて「キズ」と読むのも抵抗があります。そこで表記のようになります。
 - 一体、Sarikiz はどういう文字で表わしていたのかな？ことはばは Hılkı 語、そして Pontosの人々がもとの黒海沿岸にいたヒュンは、トルコはアラビア文字を使っていたのでは？Pontosの人々はギリシア文字を使っていたのかな？アラビア文字を今のトルコ文字に変えるホールドはギリシア文字には関係ないでしょうし、珍らしくないローマ字に勝手に加えて日本で使ってるのはどうもか「i」か「j」か迷うのも珍らしい話ですね。

＝ Lohias ＝ ロピアス

Episkepsis - Kerkyra 島
(Korfu)

96.11.9-10 Joe Graziosi マキ), 96.11.22-24 同岩井,

Music : Romiosini 96 Vol.2 (無伴奏)

⑩ closed ハーモニカル 間隔やや狭く、早のおり

$\overleftarrow{R, L, RL, R, L, \overset{\times}{r}, \overset{\downarrow}{R}, \overset{\times}{L}, }$

$\overleftarrow{R, L, RL, R, L, \overset{\times}{r}, \overset{\downarrow}{R}, \overset{\times}{L}, }$

〈メモ〉 8と10のハーモニカルをくり返す。

・「軍曹が死んでしまったことを嘆いて……」という内容とか。

・ケルキラの音楽は独特ですね。

ギリシアの中では地理的に Ipiros ですが、音楽は $\overset{\times}{\text{アドリア}}$ の向こうのイタリア的です。



= Vlacha = ヴラハ

Naxos 島

96.11.22-24 Joe Graziosi 著,

Music: Romiosini 96 Vol.2

introtz

I. $\overleftarrow{R}, \overrightarrow{L}, \overleftarrow{R}, \overleftarrow{l}, \overleftarrow{L}, \overrightarrow{r}$, (x 8)
(Staria) (T)

$$\text{III. } \textcircled{1} \text{ } R_{st}^{\textcircled{1}}, H \text{ } L_{st}^{\textcircled{2}}, R_{st}^{\textcircled{3}}, H \text{ } , \text{ } L \text{ } R, L \text{ } , \text{ } R \text{ } L, R \text{ } L \text{ }] \times 5\frac{2}{3}$$

- ＜メモ＞

 - ・構成は上に書いてある回数づつくり返したが、回数を覚えないとメロディが覚えていけない。
 - ・以前にもVlacha (Naxou)を紹介したが、基本的には同じStep、色々なVlachaがあるそうだが、この踊り方はこの曲(メロディ)でしか踊られない。

Denis

